

学校名	MWANANYAMALA B Primary School	ID	K-7	WARD	MAKUMBUSHO	Municipality	KINONDONI
-----	-------------------------------	----	-----	------	------------	--------------	-----------

住民集会結果概要(基本設計調査時)

開催日	2001年5月3日	参加者	計 42名 (生徒の親=23名、校長・教師=11名、学校運営委員会=6名、県教育担当者=1名、WEC)
-----	-----------	-----	-----------------------------------------------------

Problem Ranking		代表的な意見	
非常に問題あり ↑ 問題なし ↓	教室が過密である	生徒の親: ●より良い学習環境(教室)で子供達に勉強させたい。 ●子供を大学まで進学させたいと切実に願っているが、現状は学習環境が望ましくなく、様々な要因が子供達の学習効果に負の影響を与えている。 ●机・椅子不足は、生徒数の増加と同時にそれらを壊す生徒がいることにも原因がある。 ●教師にとってもより良い環境で授業を行うことは重要である。 ●トイレの汚臭より数不足の方が深刻な問題である。汚臭については1つのトイレを多くの生徒が使うために、掃除が間に合っていないのではないかと。 校長・教師: ●セキュリティに関して言えば、学校内というよりもむしろ学外(周辺地域)の問題と認識すべきである。 ●既にフェンスもあるので、学校施設そのものの問題に比べるとセキュリティの問題はそれほど重要ではない。(校長) ●教室と同様に職員室も過密状態にあり、教員は外で採点等作業を行っている。 ●職員室の不足も問題であるが、教室不足に比べればそれほど重要でない。その時に空いている場所を使うことで対処できる。 ●理科実験器具や地図といった教材が不足している。 学校運営委員会: ●日本には単に「教室の過密状態の緩和」だけでなく、机や椅子の供給もしてほしい。 ●去年の中等学校進学者は500人中8人であった。教科書を6~10人でシェアしているような状況下で、学習効果の向上は期待できない。進学率を上げるためには学習効率を向上させなければならない。 備考: ●1 最終的にセキュリティの問題を学校内・外の問題で分けて考察。但し、個人間に深刻さの認識に相違が見られた。 ●2 職員室が不足していることについて、教員自身だけでなく両親もその問題を重要視していた。	生徒の親: ●より良い学習環境(教室)で子供達に勉強させたい。 ●子供を大学まで進学させたいと切実に願っているが、現状は学習環境が望ましくなく、様々な要因が子供達の学習効果に負の影響を与えている。 ●机・椅子不足は、生徒数の増加と同時にそれらを壊す生徒がいることにも原因がある。 ●教師にとってもより良い環境で授業を行うことは重要である。 ●トイレの汚臭より数不足の方が深刻な問題である。汚臭については1つのトイレを多くの生徒が使うために、掃除が間に合っていないのではないかと。 校長・教師: ●セキュリティに関して言えば、学校内というよりもむしろ学外(周辺地域)の問題と認識すべきである。 ●既にフェンスもあるので、学校施設そのものの問題に比べるとセキュリティの問題はそれほど重要ではない。(校長) ●教室と同様に職員室も過密状態にあり、教員は外で採点等作業を行っている。 ●職員室の不足も問題であるが、教室不足に比べればそれほど重要でない。その時に空いている場所を使うことで対処できる。 ●理科実験器具や地図といった教材が不足している。 学校運営委員会: ●日本には単に「教室の過密状態の緩和」だけでなく、机や椅子の供給もしてほしい。 ●去年の中等学校進学者は500人中8人であった。教科書を6~10人でシェアしているような状況下で、学習効果の向上は期待できない。進学率を上げるためには学習効率を向上させなければならない。 備考: ●1 最終的にセキュリティの問題を学校内・外の問題で分けて考察。但し、個人間に深刻さの認識に相違が見られた。 ●2 職員室が不足していることについて、教員自身だけでなく両親もその問題を重要視していた。
	机と椅子が不足している		
	教室が適切に維持されていない		
	トイレ数不足		
	教室が暗い		
	親が学費を払えない		
	教科書不足		
	教材不足		
	教員用の机と椅子が不足		
	教室が暗い		
教員室が不足			
中学校へ進学する児童が少ない			
レクリエーション・ミーティング用のホールがない			
セキュリティが不十分である			
トイレが汚くて臭い			

生徒インタビュー結果概要(基本設計調査時)

項目	女子	男子
回答者	7名(7年=4、6年=2、2年=1)	4名(全員7年)
教室状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の過密状況は著しい(1教室当り生徒数129人(3)、161人(2)) ・床の損傷・雨漏り・机不足・ドアがない ・窓がないので男子が物を投げ込んできたりする ・黒板がプラスチック製のため見えにくい、雨になると見えにくい ・3人掛けの椅子に男女共に着席 ・席順は固定(施設費5,000Tshを払っていない子供は男女交代で床に座る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の過密は著しい(1教室当り生徒数120(2)、125(2)) ・約30人が床に座って授業を受けている ・3-4人が同じ机に着席 ・黒板は見える(3)、目が当たると見えないこともあるが問題なし(1) ・教科書は6人/2机に1冊 ・席順は教員が決める
学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ問題 ・学校内で好きな場所は、「中庭」(4)、「教室の近く」(1)、「校舎裏」(1) ・嫌いな場所は、「トイレ(付近)」(5)、「校舎裏」(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内で好きな場所は「マンゴの木の下」(全員)、木陰で空気が新鮮 ・嫌いな場所は「校舎裏」、木がないから
トイレ状況	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対数不足 ・悪臭・悪臭がなければ校舎の近くにある方がいい ・蟻がいる ・水がない ・Tap Waterが近くにあるので掃除の時には汲んで使う ・安全でない ・男子が入ってくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚い(3)、臭い(3) ・手洗い用の水がない ・トイレは好き(1) ・数不足が問題 ・トイレ掃除は基本的に低学年の仕事(高学年もやるが) ・薬は使っていない
男女別トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・既存トイレは男女別であるが建物と同じ ・男女別トイレ希望 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物も男女別の方が望ましいが、特に問題はない
通学	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩(全員) ・通学時間は2-15分 ・Mwananyamala Bが最近隣校(4) ・親の選択(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩(全員) ・通学時間は5-20分 ・Mwananyamala Bが最近隣校(3) ・父親の選択(1)、母親の選択(2)、兄の選択(1) ・学校選択基準は、「分らない」(2)、「母も通学していた」(1)、「試験合格率が高い」(1)